

第1回奈良市ボランティアインフォメーションセンター運営推進懇話会 会議の概要		
開催日時	平成28年7月5日(火) 午前10時～午前11時30分まで	
開催場所	奈良市ボランティアインフォメーションセンター	
議 題	1 開会 2 案件 (1) 奈良市ボランティアインフォメーションセンター事業報告について ①平成26・27年度利用状況について ②平成27年度実施事業について ③平成27年度第2回運営推進懇話会における、ご意見・ご助言と対応について (2) 平成28年度奈良市ボランティアインフォメーションセンター事業計画について 3 閉会	
出席者	出席者	秋葉武氏、井上芳恵氏、藤野正弘氏【計3人出席】
	事務局	澤野井市民活動部部长、松田市民活動部次長、矢倉協働推進課課長、森協働推進課主幹、今井協働推進課課長補佐、高岡協働推進課係長、佐藤ボランティアコーディネーター、上本ボランティアコーディネーター、丸山ボランティアコーディネーター、事務局(協働推進課)
開催形態	公開(傍聴人0人、報道関係者0人)	
担当課	市民活動部協働推進課	
<b>議事の内容</b>		
1 開会		
2 案件		
(1) 奈良市ボランティアインフォメーションセンターについて		
①平成26・27年度利用状況について事務局から説明を行った。		
主な意見は以下の通り。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室は利用人数だけではなく稼働率も算出した方が良い。</li> <li>・会議室の利用時間帯の集計結果などから、現在どのような利用者が多いかを読み取り、今後どのような利用者を増やしていきたいかなど、センターの方針を考えるべきである。</li> </ul>		
②平成27年度実施事業について事務局から説明を行った。		
主な意見は以下の通り。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの職員が会計に関する知識を得ることも大事であるが、第一段階として、会計相談会等の講座にセンターの職員も参加し、団体がどのような悩みを抱えているのかを把握し、どのような書籍を読めば良いかを教えたり、税務署に相談するように案内するなど、相談に対しどのように対応するか、その方法を身につけること</li> </ul>		

が重要である。

- ・退職後に市民公益活動を始めた中高年など、情報発信のツールや方法に不慣れな方も多いので、引き続き充実した内容の講座を開催してほしい。

③平成27年度第2回運営推進懇話会における、ご意見・ご助言と対応について事務局から説明を行った。

主な意見は以下の通り。

- ・ホームページは組織にとって有効なアピールの手段であるので、内容や仕組みを見直す必要がある。他都市の中間支援センターのホームページやSNSの活用状況をチェックし、良い点を真似した方が良い。また、引き続き職員が作成するか、業者に委託するかについても改めて検討すべきである。

- ・ブログやFacebookなど、誰でも気軽に投稿できるような枠をホームページの一部に設けてはどうか。ホームページでセンターとしての固定的な情報や過去の情報を掲載しておき、日常的な発信についてはFacebookやTwitter等を活用するなどすれば、センターの日々の動き等が伝わりやすい。

(2)平成28年度奈良市ボランティアインフォメーションセンター事業計画について事務局から説明を行った。

主な意見は以下の通り。

- ・センターだけで事業を行うのではなく、団体がセンターの運営に主体的に関わっていけるよう、団体を巻き込む力をつけてほしい。様々な分野の団体が気軽に集まれる機会を設け、自分達に必要な講座や活動を提案したり、自分達でできる活動をされたり等の、団体の自発的な取り組みをサポートしてほしい。

- ・会計相談は継続して実施していくべきである。会計に関する相談のニーズを掘り起こしていくのもセンターの大切な役割である。

- ・ニーズが多いテーマについては、枠が限られている個別相談会をいきなり開催するのではなく、まずは多くの団体を対象とした講座を開催してはどうか。

- ・センターの成果のアピールに重点的に取り組んでいくべきである。広報の講座等を開催する際には、センターの職員も共に学び、センターの広報に活かしていければ良いのではないか。

3 閉 会

以上